

授業概要

地理学は地域の人文・社会・自然現象を総合的に把握し、その性格や特色を明らかにし、地域の成り立ちや空間的分布、地域構造を考察していくことを目的としている。自然地理学においては、自然現象のうちと人間生活に関わりの深い諸事象について、その地域的分布や相互関係、人間生活とのかかわりを考察していく。

授業ではまず地球の大きさと表し方について講義する。続いて、世界の大陸や海洋、気候などについて講義する。さらに日本の地形や河川、気候、季節感などの講義を行う。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めていきたい。必ず地図帳を持参すること。

授業計画

第 1 回	授業ガイダンス
第 2 回	地球の形 (1) 地球の大きさとその形 (緯度・経度と時差)
第 3 回	地球の形 (2) 地球の表し方 (図法・投影法)
第 4 回	世界の自然環境 (1) 地球の表面
第 5 回	世界の自然環境 (2) 海水の流れ
第 6 回	世界の自然環境 (3) 世界の気候 (温帯)
第 7 回	世界の自然環境 (4) 世界の気候 (熱帯と乾燥帯)
第 8 回	確認テスト：前半の確認と補足説明
第 9 回	日本の自然環境 (1) 日本の地形
第 10 回	日本の自然環境 (2) 日本の河川
第 11 回	日本の自然環境 (3) 水循環と水利用
第 12 回	日本の自然環境 (4) 日本の気候と気候区分
第 13 回	日本の自然環境 (5) 日本人の季節感
第 14 回	日本の自然環境 (6) 自然保護と環境保全
第 15 回	まとめ：授業のまとめと補足説明
第 16 回	期末試験

到達目標

地理学的な見方・考え方を学ぶとともに、一般常識としての「地理」の知識や教養を身に付けることを目的とする。また、地図を正しく読むことができるようになり、地域のことを正しく理解できるような素養を身に付ける。

履修上の注意

授業は講義を中心とするが、作業も行う。履修者の人数により、内容を変更する場合がある。当然ながら、授業中の私語や私事は禁止である。

地図帳を持参すること (二宮書店もしくは帝国書院が望ましい)。

予習・復習

日常的に新聞やニュースなどにより、地域の出来事に関心を払って欲しい。知らない地名や聞いたことの無い地名があった場合には、地図帳で確認すること。

評価方法

定期試験 (持込不可) : 70%

平常点 (リアクションペーパー・受講態度等) : 30%

テキスト

プリントを配布する。